



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸知事

消えるまで
ゆっくり火の元
にらめっ子

平成二十一年秋の叙勲

消防功勞により県下から二〇名が受章

平成二十一年秋の叙勲が一月三日(文化の日)に発令されました。消防関係の受章者は、全国で五八五名、うち兵庫県では、元消防団員・職員二〇名が榮譽に輝きました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

伝達式は、一月二日(木)に東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールで執り行われ、原口総務大臣から各代表者に勲記等が伝達されました。



伝達式に参列された方々

〈全国消防関係受章者数〉

- 瑞宝中綬章 一名
- 瑞宝小綬章 三五名
- 旭日双光章 二名
- 瑞宝双光章 九九名
- 瑞宝単光章 四四八名
- 計 五八五名

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎瑞宝小綬章

元宝塚市消防本部
消防正監 永田 健次



元神戸市消防局
消防正監 吉宗 駒郎



◎瑞宝双光章

元猪名川町消防団
団長 井谷 節男



元加古川市消防本部
消防正監 金川 義弘



元篠山市消防団
団長 坂下 邦男



元川西市消防団
団長 古谷 茂樹



◎瑞宝単光章

元淡路市消防団
団長 井筒 良夫



元尼崎市消防団
分団長 梅村 紀次



元西宮市消防団
副団長 北浦 治



元たつの市新宮消防団
団長 木津 真人



元太子町消防団
副団長 田中 正博



元香美町消防団
副団長 田村 武夫



元芦屋市消防団
副団長 永井 二令



元高砂市消防団
分団長 中川 輝一



元明石市消防団
分団長 西 竹雄



元神戸市北消防団
副団長 西山 武史



元伊丹市消防団
副団長 藤原 勲



元出石町消防団
副団長 松原 行夫



元姫路市姫路西消防団
分団長 安政 敏



元赤穂市消防団
副団長 山脇 明男



第一五回全国女性消防団員 活性化岡山大会開催

第一五回全国女性消防団員活性化岡山大会が、平成二十一年一月五日(木)に岡山県岡山市の桃太郎アリーナで開催され、全国から二、五〇〇人以上の消防関係者が集いました。

本県からも関山会長以下延べ九〇名が参加し、小野市消防団は舞台上で活動事例発表を、加古川市消防団は、会場内でのパネル展示を行いました。

なお、兵庫県からの参加団体は次のとおりです。
神戸市東灘消防団
神戸市長田消防団
神戸市北消防団有馬支団
神戸市北消防団道場支団
尼崎市消防団



加古川パネル展示

平成二十一年秋の褒章

平成二十一年秋の褒章が一月三日(文化の日)に発令されました。

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎藍綬褒章
三木市消防団
団長 中西 君一



佐用町消防団
団長 松田 芳夫



消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した方々に授与される藍綬褒章は、全国で六九名、うち兵庫県では、消防団員二名が受章の榮譽に輝きました。

伝達式は、一月二六日(月)一〇時四五分から東京のルポール麹町で執り行われ、原口総務大臣から代表者に褒章が伝達されました。





消防ポンプ自動車と小型動力ポンプを消防団に引渡し

篠山市では、平成一二年四月の合併以来、財政状況が悪化し、消防団が保有する消防車両、とりわけ、小型動力ポンプ付積載車五一台の更新が遅れている状況にありました。

地区通信

「小型動力ポンプ等をまとめて更新！」

篠山市支部

は、水槽付消防ポンプ自動車八台、消防ポンプ自動車二二台、小型動力ポンプ付積載車五一台及び指令車二台、合計七三台で、仮に毎年四台ずつ更新して一八年、三台ずつ更新の場合、二四年でひと回りする計算です。

篠山市では、合併後の一〇年間で前述の七三台のうち二四台の更新で、最近の三年間では五台の更新に止まっています。このような状況にある中、平成二年度に国の第二次補正予算で地域活性化対策として「地域活性化・生活対策臨時交付金」が「地方再生、生活対策」に資するきめ細やかなインフラ整備等に活用するよう交付され、これを活用して消防車両等の更新を図ることとしました。

「合い言葉」

川西市消防団

大西 信昭 団長



川西市消防団は川西市誕生と同時に発足し、現在一分団四一八名で活動しています。大西団長は昭和五四年に消防

わがまちの団長さん

164

団に入団され、平成八年に副団長、平成二〇年八月に団長に就任されました。

消防団への入団の動機は、小学三年生の時の伊勢湾台風（昭和三四年）で、自宅が床上浸水し大変な被害を受けた時に消防団員の活躍が頼もしく、いつかは自分も団員になって人の役に立ちたいという思いからだったそうです。そして、念願かなって入団され、乙種制服（法被）に袖を通された時は団員としての責任をひしひしと感じ、その夜は感動して寝られなかつたそうです。

たそうです。

団長は電気店を営んでおられ、趣味はアマチュア無線とパソコンです。団長自宅の専用室にはパソコンとアマチュア無線の器材があふれ、日々多忙のなか、暇を見つけては得意の大阪弁を操り、全国の無線仲間と交信され、「川西に大西あり」と無線仲間でも有名な存在です。

団長は陽気な性格で、若手団員にも気軽に冗談を言われるなど団員が気持ちよく活動できるように常に気を遣われていますが、有事が発生したときは、自



引渡しにあたり関係団員を前に市長あいさつ



早速、試験放水！

である消防ポンプ自動車一台と一五年以上経過し修理部品に事欠きはじめて小型動力ポンプ三台を更新し、小型動力ポンプに至っては、全五一台の過半数の三〇台を更新することができました。

本来ですと、車両を三台ないし四台ずつ更新すべきところですが、財政状況もあり、火災時に直接水をかける道具であるポンプのみの更新を行うこととしました。

ポンプの口数の視点から考えますと、消防車両で四〇口、小型動力ポンプ五一口、合計九一口のうち、三二口（ポンプ自動車二口及び小型動力ポンプ三〇口）、つまり、三分の一以上の口数が一度に更新ができたことになりました。

また、別の効果としましては、一度に三〇台もの小型動力ポンプを更新したこともあり、業者間の競争が遺憾なく発揮され、一台あたりが予定よりも安価に更新することができたという効果もありました。

県下の消防団担当の皆様、この方法、ご一考されてはいかがでしょうか？

「消防団に入団して」

豊岡市城崎消防団

第一分団やまと班

藤原 範之



私の住む豊岡市城崎地域は兵庫県北部に位置し、城崎温泉で有名な観光地です。

私は、今年の七月に消防団に入団しましたが、そのきっかけは、第一分団の副分団長を最後に、父が退団したことであり、

われら若手消防団員

「消防団に入団して」

高砂市消防団

荒井分団二班

浦野 芳丘



した際には、迅速且つ高度な対応が求められるので、消防団員は訓練の充実とともに地域住民の防災訓練の支援や防災意識の啓発が、より一層必要であると感じています。なぜなら、荒井町は車が入れない程の細い路地が多数あり、その奥に住宅が密集しているところもあるので、迅速な対応が必要であるからです。

また、近年、消防団員の確保が困難な地域もあり危惧されており、日中の災害では分団員が遠方で働いている為、人員が揃うことが出来ず苦慮しているのも事実であります。消防団は、地域住民の命と財産を守っていく為に非常に重要な役割を担っていると思いますので、人材確保への工夫と組織の更なる強化に努めなければなりません。私たち若手消防団員は、地域の皆様が安全で安心して暮らせるよう、迅速な消防活動を

火活動をしているところを目の当たりにし、目的のためにみんなが力を合わせると何でもできるのだという事を身をもって実感させられました。

この時以来、消防団の重要性と必要性をすごく感じました。また様々な世代の団員の方との交流が増えたことは私にとって本当によかったと思います。

今後も定期的な訓練に取り組み、少しずつ知識や技能を身につけ、先輩団員と共に地域の安全のために頑張っていきたいと思えます。

ていくとともに、先輩方々が築いてこられた伝統を大切に、更なる発展へ向け活動していきたいと思えます。

「こんにちは！兵庫の消防団です」



http://www.hyogoshoubou.jp/

消防団今昔 64

「我が町は
自分たちで守る」

神戸市北消防団
淡河支団長
藤井 弘



昭和二二年二月消防組織法が公布され、昭和二三年に警防団を解消し、淡河村消防団が誕生しました。
昭和三三年、神戸市合併に伴い神戸市淡河消防団と改称。昭和四八年に兵庫区から分区して、北区が誕生とともに北消防署下に置かれ、昭和五八年北区内八消防団を北消防団に統合、現在の北消防団淡河支団になりました。



操法大会の様子

昭和五九年第一〇回兵庫県消防操法大会に私たちの淡河支団 A・B の二チームが小型動力ポンプ操法の部に出場し、優勝、準優勝という成績を収めることができました。
私も選手の一人として出場し、朝五時から七時までの二時間、操法の練習を行い、地元婦人会の皆さんから早朝の炊き出しをもらい朝食をして出勤しました。
一〇ヶ月間の操法練習は大変厳しいものでしたが、それまで以上に淡河支団団員の結束力が強まったことを実感しました。
あれから二五年、阪神・淡路大震災をはじめ火災や災害も種々複雑化してきており、消防団の活動も進化してきました。
火災における消火活動、避難誘導など消防署の消防隊と連携した活動だけでなく、応急手当普及員の資格取得に努め民間救急講習団体 (FAST) の認定を受け市民救命士養成講習を行い、一家庭一人を目指し普及に努めています。
平常時には、地域の皆さんに対する訓練指導や災害危険箇所

「我が人生に乾杯」

元加西市消防団長
吉田 正行



加西市消防団は、明治二十七年の北条村消防組創設に始まる。幾多の変遷を経て昭和四二年加西市発足とともに一市一団を発足させている。
私は、平成六年四月に団長を拝命し、平成一二年に退団しましたが、初年度にあの阪神淡路大震災に遭遇、消防の使命を殊更知らされました。被災地の皆さんとは比較になりませんが、地域の実情に精通した消防団員の働き、人員の確保が如何に大切かを痛感いたしました。
私が団員の昭和四〇年代は、随分火災の発生が多かった様に思っています。

一〇ヶ月間の操法練習は大変厳しいものでしたが、それまで以上に淡河支団団員の結束力が強まったことを実感しました。
あれから二五年、阪神・淡路大震災をはじめ火災や災害も種々複雑化してきており、消防団の活動も進化してきました。
火災における消火活動、避難誘導など消防署の消防隊と連携した活動だけでなく、応急手当普及員の資格取得に努め民間救急講習団体 (FAST) の認定を受け市民救命士養成講習を行い、一家庭一人を目指し普及に努めています。
これからの団員の結束力を高め、地域に密着した消防団活動の一層活性化することがなによりも不可欠であると思っております。

「災害発生 出動せよ」

「稲美町防災訓練」

稲美町消防団

平成二二年一〇月二五日、山崎断層帯を震源地とするマグニチュード七の地震が発生し、稲美町では震度六強を記録し、町内全域で家屋の倒壊や火災等が発生して要救助者、負傷者及び避難者が出ていることを想定した訓練が稲美町の加古大池を会場として開催されました。
参加者は約四〇〇名で、消防団員、婦人消防隊員、加古川市東消防署員、自主防災会員、自治会員、防犯パトロール隊員、防犯ボランティア、防犯パトロール隊員、県消防防災航空隊員、加古川警察署員、陸上自衛隊第三特科隊員、N T T西日本職員、稲美町職員が訓練に参加しました。
訓練の種目は、初動訓練、災害対策本部設置訓練、パトロール訓練、避難所開設訓練、災害用非常伝言ダイヤル設置訓練、積土のう訓練、救出救護訓練、給水訓練、緊急物資搬送訓練、炊き出し訓練、消火訓練、一斉放水訓練、応急手当講習会等が実施され、消防団員としては、積土のう訓練、消火器、消火栓による消火訓練、一斉放水訓練に参加しました。
稲美町は、ため池の数が県下最多の町として有名であり、有事の際には破堤による越水被害が想定されます。被害を最小限に食い止めるため、日頃の防水訓練の成果を生かして積土のう訓練を披露しました。近年全国的に多発しているゲリラ豪雨がいつ起こるか分からない状況にあつて、風水害時における活動をご覧いただきました。
また、自主防災会員、婦人消防隊員とともに消火器、消火栓を使った消火訓練を行いました。災害時の火災の恐ろしさは阪神大震災においても思い知らされましたが、初期消火の重要性を改めて実感していただき、日頃からの訓練を通じて火の恐ろしさと消火器具の使い方を学びたいと考えています。



消火栓による消火訓練



思っています。いつも法被を枕元に置いて眠ったものでした。今は、一つ一つ昨日の様に又、懐かしく思い出されます。梅雨の続く中でのポンプ操法訓練、団員資質向上の真夏の訓練礼式大会、勿論、幾多の火災現場活動等々。県消防大会では、知事より親子二代の感謝状を頂きました。今後の励みとともに、地域活動の伝承としても意義深いと思っております。団活動は人生のよき師であり道場であります。どんなに世の中が変わり進歩しても、団員の確保と育成は自治体の不可欠の要素と信じています。消防団は地域防災の要であるとともに、人造り村造りであり、地域住民も又その認識をしつかり持つて、応援協力して地域社会の発展に寄与せねばならないと思っております。幾多の教訓を授かり、よき友を得て退団後は、天皇陛下より労いのおこたばを頂戴して、我が人生これに勝るよろこびはありません。消防団あつたればこそであります。
今日一月一日、氏神様へ参拝して歩いての帰り道、全国秋季火災予防運動に因んで防火パレードの消防車が、列をなしてサイレンを鳴らして通り過ぎて行つた。ご苦労さんです。彼らに幸多かれと祈るとともに、住民の平和な暮らしを願いつつ歩を進めた。
川沿いの散歩道は穏やかな秋の日差しが溢れていた。



消火器による消火訓練



積土のう訓練

北から南から

「但東町は見どころ」

豊岡市但東消防団

但東町は、平成十七年四月、一市五町が合併。「豊岡市」となり五年目を迎えました。市内には六消防団がそれぞれに活動しています。七〇〇平方kmという広大な市域を有し、田山川上流部、河口部、竹野川など気象条件の違いや防災形態の多様性などから多団制を採用しています。

但東地域には見どころがいっぱいあります。
現在、豊岡市にはコウノトリ九九羽が飼育され、放鳥や野外繁殖により三七羽が自然界で暮らしています。四ヶ月ゲージで暮らしていた二羽のコウノトリが、一〇月三十一日、但東の空に放鳥され、元気に大空を舞っています。

「美人湯」と呼ばれる「シルク温泉」に続き、昨年、「たんたん温泉」がオープン。開放感あふれる野天風呂も好評で、人気スポットとなっています。「たまごかけごはん専門店」として京阪神各地から訪れる



2009 但東チューリップまつり「パンギン」の花ワアート



但東で放鳥され大空へ舞うコウノトリ

「但熊」は、土日になると行列ラッシュ。ごはんも卵も店主の自家製。必ずご満足いただけます。

来年で一九回目を迎える「但東チューリップまつり」は春のメインイベント。百万本のチューリップ畑の中に一〇万本のフラワーアートを演出します。来年のアートの、ワールドカップ南アフリカ大会にちなんで「サッカーボールを蹴る象さん」。美しい田園風景にマッチしたのどかなイベントをお楽しみください。

広大なモンゴルの歴史と文化を体感できる「日本・モンゴル民族博物館」は楽しみながら学べる体験型博物館として、多くの来場者があり、必見のミュージアムです。

最近話題の「どぶろく」は農村体験館「八平」または但熊前の酒屋で販売しています。女性にも飲みやすいと好評で、宅配にも応じています。さて、本年八月九日に急襲し

「思い出の一枚」

写真提供・取材協力

尼崎市消防団副団長 織部 義晴

この写真を県協会にご提供いただいたのは、尼崎市消防団副団長織部義晴さんが、お孫さんから若い頃の写真を見せてほしいとせがまれ見つけられたのがきっかけで、昭和三〇年代、当時二歳であった織部副団長が「ダッジ」というアメリカの自動車ブランドのポンプ車を撮影したものです。

写真のとおり、クラシックなオープンカーがとても魅力的で、当時は消防に関する装備は不十分なものの画期的な乗り物だったことでしょう。

この写真をご提供いただいた織部副団長に尼崎市消防団への想い、今後の活動への抱負を熱く語っていただきました。



昭和30年代当時の織部副団長

た台風九号は佐用町など県南西部に大きな被害を与えましたが、但東地域にも大きな爪痕を残しました。

住家被害は半壊一軒、一部損壊二軒、床下三八軒、国道も夜半から通行止めとなり、最大時間雨量五七mmは、平成一六年台風二三号を上回り、山腹崩壊、土砂流出、護岸崩壊は四六四箇所を上りました。

一〇日午前〇時一〇分、但東地域災害対策本部設置。但東消防団員一五八名が早朝まで出水通報による土の積みや排水作業、避難者への対応に追われました。

今後「但東地域は但東消防団を守る」という気概で防災活動を展開してまいります。

編集後記

今年も残すところあとわずかとなり、年末警戒や年明けには出初式を控え、皆様方におかれましては、普段にもまして、お忙しい日々を過ごされてきていることと思いますが、皆様がかが過ごしでしょうか。

今月号へも各地区、各支部から多数寄稿していただき、ありがとうございました。

このたびの織部副団長にご提供をいただいたような、消防に関する歴史的な資料をお持ちの方は、是非県協会までご連絡ください。

「兵庫消防」に掲載することで、後生に残していきたいと考えております。

平成22年消防出初式日程表（1月実施分）

地区	実施日	市町名	開始時刻	場 所	地区	実施日	市町名	開始時刻	場 所		
神戸地区	1月10日(日)	神戸市	10:00	メリケンパーク	西播磨地区	1月10日(日)	相生市	9:30	那波中央公園		
阪神地区	1月9日(土)	西宮市	9:30	武庫川河川敷			たつの市	9:30	千鳥ヶ浜グラウンド		
		伊丹市	10:00	昆陽池公園多目的広場			上郡町	9:30	上郡町役場		
	1月10日(日)	尼崎市	10:00	尼崎市立小田南中学校		1月17日(日)	太子町	9:30	太子町民グラウンド		
		川西市	8:30	川西市立川西北小学校			但馬地区	1月6日(日)	豊岡市豊岡	9:00	豊岡市民体育館
		芦屋市	10:00	芦屋市立体育館					豊岡市城崎	9:00	城崎小学校体育館
		宝塚市	10:00	宝塚市立末広小学校	豊岡市竹野				10:00	竹野中学校体育館	
	猪名川町	9:30	猪名川町文化体育館	豊岡市但東	9:00	但東市民センター					
東播磨地区	1月10日(日)	明石市	9:45	明石市役所周辺・明石市市民会館	1月11日(月)	豊岡市出石	9:30	出石中学校体育館			
		加古川市	9:00	加古川市防災センター	丹波地区	1月10日(日)	篠山市	10:00	たんば田園交響ホール		
		高砂市	9:30	高砂市総合運動公園・総合体育館			丹波市	7:30	丹波市中央公民館		
		加古郡(稲美町、播磨町)	10:00	播磨町立蓮池小学校	淡路地区	1月10日(日)	洲本市	9:00	洲本市文化体育館		
中播磨地区	1月10日(日)	姫路市	9:30	シロトピア記念公園			南あわじ市	9:30	三原健康広場グラウンド		
		市川町	9:00	川辺小学校グラウンド			淡路市	10:00	一宮中学校グラウンド		
中播磨地区	1月17日(日)	福崎町	9:30	田原小学校グラウンド							